



「必ず実現する」

ルカ福音書二四章44〜53節

牧師 安藤 脩

あなたは今まで、どれ位、自分の願いが叶えられましたか。

自分の願うことが何一つたがえることなく、必ず実現することを確信できる人は、なんと幸いでしょう。でもそういう人は自信過剰なのでしょうか? 「自分ができる」と思う人は、確かに自信過剰でしょう。そして実現できないことにぶつかり、自信を喪失するのであります。

イエス様の弟子たちは打ち砕かれ、自信を喪失しました。ペトロは「主よ、御一緒になら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております。」(ルカ二二:33)と言いました。イエス様が窮地に立ったら、共に命を捨てる覚悟と自信がありました。しかし、イエス様を「そんな人は知らない」と否認し裏切ったのです。ペトロだけではありません。弟子たちは皆、自信をなくし、失望と不安の中に居りま

した。そのような弟子達を、再度立ち上げらせ、自信を回復させたのが、今日の聖書の箇所です。

イエス様は「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事は、必ずすべて実現する。」(マテ)と言われました。旧約聖書には救い主が来る事が記されています。イエス様はその救い主とは自分であるという自意識がありました。つまり、神が約束した救い主預言を実現するために、自分はこの世に來たとの使命感を持っていました。しかしそれは決して楽な道ではありませんでした。「メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。」(コリ46)と十字架の死に与かる苦しみを受けるということです。でもそれがイエス様の使命・神の計画でした。神の計画の中を歩くなら、必ずすべては実現するのです。

だからわたし達にとっても、「願いが必ず実現する」との確信の鍵は、自分は何のために、この世に來たのか、その使

2013年夏号

日本キリスト教団

横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL 045(751)3917

牧師

安藤 脩

命を知ることであります。

イエス様は人間の原罪を贖うという、イエスさま以外にはできない業を成し遂げました。しかし、神の計画はそれで終わったわけではありません。イエス様が昇天した以後は、弟子達が神の計画の中を歩む番です。

「また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる」と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。」(コリ47〜48)と言われています。これが弟子達の使命であります。弟子たちはもはや、「自分は出来る」とは思いませんでした。では自信はなかったのでしょうか。そうでは有りません。

「わたしは、父が約束されたものをあなた方に送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」(コリ49)による力を信じていました。つまり、「自分は出来る」ではなく「神はなさしてください」との自信を与えられました。

自分の願いが、神の願いと一致する時、その願いは必ず実現するのです。だからこそ、私たちは神の前に静まり、物の見方、考え方をだんだん、神の見方、考え方に変えてもらう必要があります。

証し

洗礼を受けて

森田 智美

二〇一三年3月31日。私はイースター礼拝で洗礼を受けました。二〇一二年の11月に横浜岡村教会に通い始めてから洗礼を受けるまではわずか4か月ですが、私とキリスト教との関係は20年程前から始まりました。当時、幼稚園児だった私は、幼稚園にある祈禱室で友人とお祈りをするのが日課でした。また、家で過ごす時なども一人でお祈りをする位、お祈りをするのが好きで、子供ながらもお祈りすることで心の落ち着きを感じていました。それは、幼稚園を卒園してからも、今に至るまで変わりません。小学校から高校まではキリスト教主義の学校ではありませんでしたが、その間も幼稚園でのことをよく思い出していました。大学は、キリスト教主義の関東学院大学に通っていましたが、高校で進学校に通っていた私は、入学当時、自分の希望の大学ではないこの大学に通うことは正直なところ嫌で、しかも、勉強もやりたい勉強とは少し違ったため大学での生活もつまらないものでした。しかし、講義の課題として参加した大学礼拝でゴスペルシンガーの方がメッセージしてくだ

さったことから、私の大学生活は変わりました。彼の話は、「人がボールペンを書くために造ったように、神様は私たち一人ひとりを目的をもって創造された」というもので、「(キリストを知ることにより)人生をRestart出来る」という彼の言葉を聞いて、私自身には神様がどんな目的をもって想像されたかはわからないけれど、今ここからできることを取り組んでみよう！と、自身の状況を前向きに思うことができました。そして、そこから、資格の履修をしたり、他学部など興味のある講義の聴講をしたりしていくうちに大学生活が楽しくなり、友人も自然に増えていきました。まさに「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。」(マタイ七・7・8)にあるように。そして、その時から幼いころに出会った神様はいのだと信じるようになりました。大学4年生の時に、教会員である平野くんからキリスト教の福音を聞き、私自身がイエス・キリストを自分の救い主として受け入れた時からすぐに洗礼を受けたいと思うようになりました。また、幼い時にお

祈りをしていたことから、毎日お祈りすることを日課にするようになりました。その後、聖書を読むことも習慣になった頃、「だから、あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。」(マタイ六・6)という御言葉を讀んで、幼い頃、小さな祈禱室で祈っていたことを思い出しました。と同時に、日々の生活や信仰生活の中で目立つ行動が出来ない私だけれど、それでも神さまはちゃんと私のことも見ていてくれるということがわかり、とても安心しました。そして、今回洗礼を受けて、洗礼を受ける前よりお祈りを通して神様の存在をもつと感じるようになりました。これからも、小さなことでもその祈りを通して、信仰をあつく持ち続けたいと思います。



森田智美姉 イースターに受洗

証し

母が病床洗礼を受けて

高橋 香

去年3月16日、母の高橋トヨノは、心筋梗塞の発作をおこし、すぐに安藤牧師より、病床洗礼を受けさせて頂きました。本当に感謝致します。母は、奇跡的に回復し、今はすでに、退院をしております。

私は、父の他界から、母と同居することになり、今回の心筋梗塞の発作をいち早く気づき、病院に搬送出来たことは感謝でした。また何度か重篤な状況に陥った(電気ショックで蘇生した時もあった)にもかかわらず、今自宅で静かな生活を送ることが出来ていることに心から感謝したいと思います。以前母がもらした何時かはクリスチャンになるのかな?という言葉を支えに病床洗礼を安藤牧師に緊急で行ってもらい、家族全員でクリスチャンファミリーになれたことに、心から感謝いたします。すぐに行われたカテテルの手術が大成に終わり、安藤牧師や主治医からも「新しい命が授かった」と言っていただき、母が教会に通う日を心から待ち望み、祈る毎日です。主に頼んで、母の心が主に向かいその足が教会に向かいますように、安藤牧師並びに皆

様のお力をお借りして・・・
今、母の手元には、「主の祈り」があります。

私の母は、昭和初期に玄海灘で有名な福岡県北九州市で生まれました。9人兄妹の真中で、子供時代は下の子達の子守をしながらよく遊んだそうです。そのせいか、昨年の梅の実の収穫も私より高い枝へすると登り(私は重みで枝が折れそう途中で止まり登れませんでした)食欲に沢山の実を採っては下で待ち構える袋めがけて実を落としていました。

母が中・高生時代に太平洋戦争(第二次世界大戦)が勃発し、ろくに勉強もせず勤労奉仕ばかりで、長崎に原爆を落としたB-29も見上げていたそうです。また、戦後物の無い時は、洋裁を習わされ、洋服と交換に家族の食糧を調達したそうです。私が子供の時からよく聞かされ、また孫達にも話してくれます。

母は、話でしか聞いたことのない東京に行きたくて、友人をたより東京に出てきて、同じく山形の庄内平野から上京していた父と巡り合い、結婚し私が生まれました。

母は、生来の気質が育った環境のせいか、商売(仕事)が大好きです。記憶に

ある母の姿は、家庭と仕事を両立しながら、常に働いていました。今の会社も母が1年間ただ働きをして、母が50歳になった頃先代から譲り受け、併せて創業61年目になります。父の免許で成り立っていましたので、父が他界した後、私が免許を取得し、細腕ながらも存続しています。これからも続けて私達ファミリーの為に祈り下さい。

聖書の言葉「いかに幸いな事でしょう。あなたに選ばれ近づけられ あなたの庭に宿る人は。恵みの溢れるあなたの家、聖なる神殿によって私達が満ち足りますように。」

詩編 65 篇 5 節



高橋トヨノ姉を訪ねて

牧野文子姉、訪問記

今給黎 美代子

爽やかに晴れた4月下旬の一日、牧野文子姉が入居なさっているグループホームを訪問いたしました。案内された部屋に行くと、文子姉が満面の笑みで出迎えてくださいました。文子姉は、健康も支えられていて、個室は清潔で、部屋の窓からは、借景の庭の若葉が美しく、のどかな環境の中で暮らしておられました。懐かしい岡村教会の一人一人の消息を訪ねられ、皆様からのお祈りと、今在る神様の恵みに感謝されていました。

幼い時から、お母様の信仰に育まれた文子姉は、固い信仰を持って、根岸橋教会の婦人会でご奉仕された事などを良く話しておられました。そして、お年を召された今も「このホームのムードメーカーですよ」とスタッフの方が教えて下さいましたが、“弱さ”をも用いられる主の顧みと、大いなる恵みが、顕わされていると思いました。



ご自分のお部屋で

文子姉が「私の信仰体験」を信徒講座で証しされた時のみ言葉です。
「主は近し、何事も思いわずらうな、ただ事ごとに祈りを成し、願いを成し、感謝して 汝らの求めを神に告げよ」
(フィリピ書四：5～6)
横浜岡村教会の礼拝に出席したいとの願いが叶えられますように、そして、一日一日を、心も体も守られて平安の内に過ごされますようにと、祈りつつ文子姉に見送られて、ホームを辞しました。



牧野文子姉と共に

早園 貞子
牧野姉が入居している「セントケアホーム港南」は港南区野庭町にあり、区画整理された町並みから少しはずれた素敵な所でした。家の道を通り過ぎ、曲がると、風景がすっかり変わりました。竹林、青葉の繁る山畑、小鳥の声が聞こえる閑静な所にホームが立っていました。部屋は全部で18室とホールで、こじんまりした新しい建物です。JR港南台駅から徒歩25分。バスを使えば徒歩5分と便利な所です。自然に囲まれた静かなホームでした。感謝！



チャペルコンサート に参加して 「ホルンとピアノが 奏でる世界の名曲」

田原 夕実（JCM）

3月17日(日)ホルン演奏者・宮田四郎先生、ピアノ伴奏・中村梓姉の演奏を拝聴しに私は、岡村教会へ出掛けて行きました。小学5年の娘が毎週ジュニア・チャーチで日曜礼拝に通い、お世話になっている中、最近、私は教会に足を運ぶ事が少なくなり、家の中に閉じこもっているような状態でした。そんな中、今回ホルンコンサートが行われる話を聞いて、頭の片隅に入れていた所、コンサート当日、「今日は、ホルンを聞きに行こう!」と久しぶりに前向きな気持ちになり、一人で出掛けて行くことができました。宮田先生は、ホルンという楽器の操作の難しさの説明、感情や音域の広さをお話くださいました。また演奏の前に丁寧な曲目の説明をしていただいたので私は、知らない曲や知っている曲を心地良く聞くことが出来ました。特に、アメイジング・グレイスのホルンとピアノの協奏がすばらしく、皆様と賛美したアメイジング・グレイスは、感動致しました。曲の間の説明の時も、肺活量がどれほど必要なの

なのか、またそれを維持する為の努力も凄く、演奏を続けるのは、とても大変な事だと思いました。また、宮田先生のような経歴をお持ちの方でも、ホルンを吹く時の緊張は、計り知れないものがあり、思い通りの音が出る時ばかりではなく、音が響かない時もあるお話をさせていただきました。本当にいつも成功ばかりしているのではなく、失敗もあり緊張の連続であると言うことでした。これからも各地の教会で演奏奉仕活動が続けていただきたい気持ちで一杯です。また、岡村教会で演奏して下さる事を願ってやみません。このような機会を作ってくださった岡村教会の関係者の皆様に感謝するとともに、私たちを導いていただきありがとうございました。次回は、是非娘と一緒に演奏会に出席し、共感したいと思います。宮田先生、中村 梓姉、素敵な時間を本当に有難うございました。



アンケートより

◎ホルンの音色の温かさ、やさしさ。まるで、森林に入っていくような気持ちよさ!とても癒されました。ありがとうございました。

◎演奏会のための小品は天国を想像しながらとても、幸せな気持ちになりました。安らぎの木陰は、世が与えるものとは違い、本当に心に平安が浸透しました。ありがとうございました。

◎知的障害の子に聞かせたくて連れてきてしまいました。迷惑でしたが、まわりのみなさまの温かい心が感じられ、うれしかったです。最後まで居られました。ありがとうございました。

◎アンケートをBGMの生演奏を耳にしながら記入するなんて、ステキです。ホルンとピアノのコラボがこんなにも心地よいとは・・・演奏の合間のお話に心にしました。

◎ホルンの演奏は初めてで、とても素晴らしいと思いました。宮田先生の若さに驚きました。最後のサービスのアメイジンググレイスの楽しいバージョン、素晴らしかったです。ありがとうございました。

こころの友伝道講習会に

参加して

平野 耕太郎

今年に入り、安藤牧師が選ばれた「あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」(Iコリント十二:27)という二〇一三年の標語聖句がとても気になりました。私はこの標語聖句から、キリストのからだの一部として、わかえりだいで若い人達をもつと教会に来られる様にはたらこうと考えました。しかし、その次に示されたのは伝道のはたらきでした。元々私は、洗礼を受けてからすぐに伝道に対する情熱を持つ様になりましたので、ある時は一年間かけて伝道の学びと実地訓練にも参加しましたし、大学四年間はキャンパス伝道で有名な学生宣教団体、Campus Crusade for Christにも参加しました。しかし、それにも関わらず教会での伝道活動への参加はとても消極的だったのです。だからこそ、まず他の奉仕がない限りは伝道部会に参加し、少しずつ教会の伝道活動を知ってゆくところから始めました。今年2月のオープン礼拝では、救いの証をするご奉仕も務めさせて頂きました。そして、この度横浜岡村教会が参加している「こ

ころの友伝道」の関東講習会にも参加し、教会で出来る自分の伝道活動を考えようと思ったのです。

今回の大会では、昼食時にグループ毎に分かれた上で、各教会での伝道活動に関する分かち合いの時を持ちました。その時に興味深く感じたのが、年齢層で異なる伝道方法の意識の違いです。即ち、年配の方達は現代のIT時代の流れについてゆくべく、ホームページやTwitter、Facebookを活用したインターネット伝道をしっかりやらなければならないという意識を強く持っている一方、若い人達の中にはかえって従来の手紙やチラシを用いた文書伝道の大切さを感じている方達もいたのです。私自身もインターネットを使った、外に向けた伝道活動はとても大切であると感じますが、「その人の為にこそ祈って」送られる手紙や電話といった、今出来る「メッセージ」こそ、私達の身近にいる人達に最も喜ばれるのではないのでしょうか。



毎年恒例の
おもちつきです



おいしい豚汁

おもちは、近所
配りました。



あんころもち、のりもち
きなこもち …みんな大好き！

写真で見る
イースターの1日



イースターエッグ

先日、作業室がある横浜岡村教会の周辺の駅や乗り物の中で、いもぴいをかばんや携帯に付けている人を見かけ嬉しくて思わず声をかけたくなったら、店員さんとボランティアさんが盛り上がって話していました。また、バザーで毎年何う教会の付属幼稚園では、バザーが終わると、かばんにいもぴいをつけている園児が増えるんですよと牧師先生からお聞きしました。

沢山の地域の方、教会関係の方に愛され、開所初めから手芸品のメイン作業として、店員さん達が取り組んできた芋虫ストラップの「いもぴい」が昨年度、神奈川県社会福祉協議会主催の作業所自主製品コンテスト「第1回きらっと輝く自主製品コンテスト」で優秀賞を頂きました。



ろば店だより

いもぴいが優秀賞に

坂本 匠子



かわいい いもぴいたち



優秀賞の賞状を持って

た。

七年前、横浜岡村教会のフェロシツブルームをお借りし始めた頃は店員さんはたった2人でした。今年度新たに2人の方が加わり、今では21名の店員さんが毎日交代で手芸品とお菓子作りをし、店舗「カラフル」で販売をしています。

店員さんが働く喜びをあじわえるよう、お客様に喜んでいただける製品を作れるようこれからも頑張りますので、さらなるご支援ご協力とお祈りをお願い致します。

華舟・新作の紹介

いのちのことは社より華舟画・書の扇子が発売されました。

画は「花海棠（はなかいどう）」

書は「主があなたを祝福し

守られますように」です。

書店で買おうと

1680円ですが、

教会では1600円

です。

プレゼントなどにお用い下さい。サンプルがあります。注文は安藤善枝まで。



新作扇子「花海棠」



6～8月行事予定

6月

- 9日 JC 花の日礼拝
 16日 JC 父の日招待礼拝
 18日 田崎宅家庭集会
 19日 三教会統一祈祷課題祈祷会
 毎週日曜日 信徒講座
 毎週金曜日 ラング記念聖書学校
 28日 藤山宅祈祷会

7月

- 13～14日 第32回岡村アシュラム
 (助言者・有馬歳弘師)
 16日 田崎宅家庭集会
 26日 藤山宅祈祷会
 26～29日 JC 松原湖バイブルキャンプ
 28日 三教会交流講壇交換(島田師)

8月

- 3～4日 JC 夏季学校(教会)
 13日 田崎宅家庭集会
 18日 創立記念礼拝(証・早園貞子姉)
 19～22日 安藤師夏季休暇
 26～28日 こころの友伝道全国大会
 (横浜・ホテルプラム)
 30日 藤山宅祈祷会
 (毎月第1主日 聖餐式、役員会)
 (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓

(ジュニアチャーチ)

「すべては神様のわざ」
 藤山 クニエ

5月12日(日)の母の日礼拝は、大変感謝の日となりました。新一年生のお母様や、ミッシン・スクールの中学校に入った生徒さんが、お母様共々参加して下さいました。13名もの若い母親が、共に聖書を読み、祈り、賛美出来ました事は、大きな喜びで、まさに神様の大きな業以外の何ものでもありません。二年生になった子が、この頃いやにしっかりしてきた

と思つたら、6月にはお姉さんになる事がわかり、嬉しい限りです。献金係も率先してやって下さり、祈りもきちんと出来、すごいなーと、感心しました。共に神の子どもとされて、祝された一年でありますように。



編集後記

今年も早いもので6月です。梅雨に入ったようですね。この所、一日の寒暖の差が激しく、ついに喉をやられてしまいました。養生をしていますが、岡村の泉は駆け足でやってきます。けれど、今回もたくさんの方々のお証しを寄せて頂き、元気ができました。感謝です。
 (Y・A)

集会案内

- 第32回岡村アシュラム
 7月13日(土)～14日(日)
 助言者・有馬歳弘牧師(青梅教会)
- JC夏季学校(於・教会)
 8月3日(土)～4日(日)
- 創立記念礼拝
 8月18日(日)(証・早園貞子姉)

今から祈ってぜひ参加して下さい。

